

# そよかぜ通信

## 第282号

発行

2023年12月

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団  
調布市知的障害者援護施設そよかぜ 施設通信  
〒182-0032 調布市西町290-4  
TEL 042-481-7663  
FAX 042-481-7074  
URL <http://www.jigyodan-chofu.com/soyokaze/>  
ホームページではカラーで掲載しております。是非ご覧下さい。



## 季節の外出！～第二弾行ってきました～

秋の散策と  
藤子不二雄ミュージアムへ

陶芸班 II

ほうとうに天ぷら、ソフトクリーム！  
山梨の名産を堪能しました

コミュニティ班

信玄餅工場見学と  
山梨名物グルメの旅

夢の国で、たくさんの  
人気者に出会えました！



## ～秋といえば芸術の秋？食欲の秋？～

文化の日も近くなった水曜クラブで、アートパワーが爆発です！



寒い日に暖かいお店で食べるスイーツは心も温まります！



## 防災訓練の報告です

11月11日土曜日、なごみ・そよかぜ・すまいる合同での職員総合防災訓練が開かれました。災害への備えに取り組んでいきたいと思ひます。



## そよかぜとはこんなところ



そよかぜは、知的に障がいのある18才以上の方が自宅やグループホームから平日の日中に通所し、午前には織物、陶芸等の作業、午後は運動や学習、クラブ活動などの各種の活動をして、地域で地域の社会資源を使いながら生活を送る為の通所施設です。



## 職員リレーコラム♪明日は明日の風が吹く?!



### 「近況報告です」

刈屋 隆一



そよかぜにて9年と6か月が経ち還暦を迎えました。勤務し始めた頃は、勤務後にボウリングの練習を平日、週に3回は行っていました。最近ほとんど行かず、プロボウラーチャレンジという大会に月数回参加するのみで練習はほとんどしていません。なので、体力低下と動きの鈍さを実感しております。

そんなわたくしですが、24歳になる息子もおり、現在入所施設にて平日を過ごし、毎週末の土日で帰宅し一緒に過ごしております。しかし、コロナ禍の影響で、約2年間帰宅も面会もできず、という時期があって生活リズムが大きく変わってしまいました。最近では帰宅できるようになったが、帰宅した日は徹夜です。新しく色への拘りが強まって、道路のペイントや建物の壁、看板などへの爪を立てて色をこすり取ろうとする拘りが出ています。その為、爪がギザギザになり自分の身体を引っかいては血の「赤」を紙おしぼりにつける自傷行為がみられるようになりました。施設での活動で本人が喜んで行う、色遊び・・・コロナ禍で散歩もままならない時に、本人が楽しめた色付け遊び・・・まさかこんな形になってしまうとは、なんとも難しい限りです(涙)。

でも、そよかぜで学んだスキルも施設に教えてなんとか切り抜けて、今後も息子が笑顔で無事に過ごしていけたらと思ひます。そして、現状、そよかぜはなかなか厳しい環境ではありますが、職場でも利用者のみなさんの笑顔がたくさん見られるように、頑張りたいと思ひます。

